

Course number		U-LAS70 10001 SJ50				
Course title (and course title in English)	ILASセミナー：史実と物語 ILAS Seminar :Historical facts and the narrative literature		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Letters Associate Professor,HONJOU FUSAKO	
Group	Seminars in Liberal Arts and Sciences		Number of credits		2	Number of weekly time blocks 1
Class style	seminar (Face-to-face course)	Year/semesters	2025・First semester		Quota (Freshman)	5 (5)
Target year	1st year students	Eligible students	For all majors		Days and periods	Fri.5
Classroom	(Main Campus)				Language of instruction	Japanese
Keyword	日本史 / 古代史 / 史料 / 論文講読					
[Overview and purpose of the course]						
<p>この授業では、物語をはじめとした同時代の文学作品を史料として利用するために、先人がどのような工夫をしてきたのかを学ぶ。</p> <p>歴史学においては、様々な事物を用いて過去の復原を試みる。文献に限っても、当時の人々が書いた文書、帳簿、日記、さらに歴史書、法典など多岐にわたる。歴史学者は、あらゆる手段を用いて過去の情報を貪欲に引き出してきた。</p> <p>当時の物語や説話集なども、歴史学においては史料として利用される。もちろん、フィクション部分をそのまま史実として鵜呑みにする訳にはいかない。「史料批判」と呼ばれる技術を用いながら、史実の抽出に努める必要がある。</p> <p>この授業は、物語等の史料や、これを利用した歴史学の論文を読み、歴史学の方法を体感することを目的とする。</p>						
[Course objectives]						
<ul style="list-style-type: none">・史料批判の基礎を学ぶ。・史料や論文に依拠して議論する方法を学ぶ。						
[Course schedule and contents)]						
基本的には以下の順で進める。						
第1回 イン트로ダクション、論文まとめの担当決定						
第2回 ガイダンス 史料批判の方法						
第3～第12回 史料輪読5回、論文選読5回						
日本書紀、万葉集、日本霊異記、栄花物語、源氏物語、以上5つの文学作品を輪読して史料の雰囲気をつかむとともに、これらの作品を用いた歴史学の論文を選読する。作品の輪読する部分や選読対象の論文については担当教員があらかじめ指示する。						
第13回 レジューメ作成						
レポートの骨子をレジューメにして発表する。						
第14回 レポート作成						
レポートを受講者間で読み合わせし、意見を交換する。						
----- Continue to ILASセミナー：史実と物語(2) -----						

ILASセミナー：史実と物語(2)

第15回 フィードバック

[Course requirements]

日本古代史に強い関心を有すること。

[Evaluation methods and policy]

発表25点、討論への参加25点、期末レポート50点。

[Textbooks]

Not used

[References, etc.]

(References, etc.)

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

史料輪読

...指定部分読解のための予習

論文選読

...全員：指定論文を読む。

担当者：論文の概要をレジュメとしてまとめる。分からない専門用語等についても調べる。

[Other information (office hours, etc.)]

[Essential courses]